

図書館だより

2025年1月
Vol.22
大分県立看護科学大学
図書委員会



◆◆◆ ご挨拶 ◆◆◆

図書委員会委員長 宮内 信治

みなさん、こんにちは。読書の秋を楽しむ間もないくらい、あっという間に季節が移って、すっかり寒くなりました。体調管理に気を付けて過ごしていただきたいものです。

今回の図書館だよりも、興味深い本の話が盛りだくさん。本との出会いと刺激、新たな知識や情報の生成と発信。人類の進歩、発展に不可欠な知的活動がここにもあります。

何千年も前に書かれたものが時空を超えて読める、今、生まれた知識や情報が、まだ生まれていない人に読み継がれていく（かもしれない…）。そのダイナミズムが読書の力であり、その源が図書館です。使わない手はない。図書館を大いに利用して、人生を、そして社会をともに豊かに変えていきましょう！

◆企画展示紹介 皆さんにおすすめしたい図書を集めて図書館入口に展示しています



本を開けば 福が来る

今年一年を笑顔で過ごせるよう
図書館では開運の本や笑える本、
幸せな気持ちになれる本などを
集めてみました。
図書館の本を読んでたくさん笑って
新しい年に福を呼び込みましょう！



◆犬をもっと好きになる 犬の本 新刊コーナー横に展示しています



犬をもっと好きになる 犬の本

昨年末から展示していた犬に関する本を引き続き新刊コーナー横に置いています。「犬」が登場する小説やエッセイ、働く犬の本などたくさんの犬が集まっています。本学の近くにある動物愛護センターのパンフレットも置いていますので、この機会に人と動物のかかわりや動物愛護について考えてみませんか？



◆図書委員会おすすめ図書

新刊コーナーに展示しています

〈地域看護学〉 藤本 優子 先生

鈴の鳴る道 - 花の詩画集

星野 富弘【著】 偕成社



2024年4月に逝去された星野富弘氏による詩画集です。中学校の体育教師をしていた星野氏はクラブ活動の指導中の墜落事故で頭部から転落し、頸髄を損傷。手足の自由を失いました。その後、口に筆を加えて文や絵を描き始めます。

この詩画集には、手足の自由を失ってから今に至るまでの正直な気持ちが、絵に添えられてせきらかに綴られています。人間の弱さこそ真の強さにつながるのかもしれない…そう思わせてくれる一冊です。

〈図書館〉 甲斐 史織 さん

祖母姫、ロンドンへ行く！

榎野 道流【著】 小学館



霧の町ロンドンへ、80歳を超えたおばあちゃんと旅行。と、字面だけ見たら「すご〜い！」と感想を抱きますが、いえいえ想像以上でした。こちらのおばあちゃんは「姫」と称される程の強者。その「姫」の誇りを傷つけぬ様配慮しながら楽し

ませ、かつ体力的に無理のない旅程を組む…なかなか高難度です。同伴者であり著者でもある「私」がロンドンの優しく賢い人々に助けられながら旅程を終える時、心に優しい風が吹く。そんなお話です。

〈図書館〉 中野 智子 さん

日本狒犬大全

荒勝 俊【著】 さくら舎



看護に関する本が揃っている図書館ですが、「こんな本もあるの？何これ〜、ぷぷぷ(笑)」と、思わずページを開きたくなるような本もあります。それは神社に、ちょこんと鎮座している狒犬の本です。威風堂々、迫力満点。

優雅な巻き毛や、笑みが出るほどユニークで可愛い狒犬まで、日本全国の狒犬の写真が多数収められています。神社や狒犬の歴史を少し読み解きながら、名石工の芸術にも触れてみませんか？

〈図書館〉 白川 裕子 さん

リラの花咲くけものみち

藤岡 陽子【著】 光文社



幼い頃に母を亡くした主人公の聡里(さと里)は、祖母と愛犬に支えられ、故郷から遠く離れた北海道で獣医師を目指します。北国の美しい自然の中、様々な人と出会い、成長していく聡里を応援しながら読んでいくうちに、いつのまにかこちらも勇気づけられる、そんな素敵なお話です。獣医師は動物の命と向き合う

厳しい仕事ですが、看護師を目指す皆さんには共感できる部分も多くあるのではないかと思います。作者の藤岡陽子さんは作家であり、現役の看護師でもあります。この本の他にも図書館には藤岡さんの小説がたくさんありますので、興味を持った方はぜひそちらも読んでみてください。

◆精神看護学研究室 影山隆之先生 執筆・翻訳図書紹介

精神看護学研究室影山隆之教授が分担執筆された書籍「睡眠学の百科事典」と翻訳書籍「ストレスの歴史」が出版されました。それぞれの書籍について影山先生ご自身にご紹介いただきましたので御覧ください。影山先生は「睡眠学の百科事典」では「第Ⅱ部 睡眠と社会」の「在宅介護者の睡眠」を執筆、「ストレスの歴史」については第1章後半を翻訳されています。



睡眠学の百科事典
日本睡眠学会 編
丸善出版 2024年

人生は覚醒と睡眠の2種類から成り立っていますが、幸福な人生や健康な生活についてイメージするとき、ほとんどの人は覚醒時間のことしか考えません。しかし実は、睡眠と覚醒は表裏一体で分けられないもので、幸福な睡眠や健康な睡眠について考えるのは大事なことです。そこで睡眠についての関心が急速に高まっています。もちろん睡眠は看護でも大切な問題ですから、看護学の基礎教育の中でもっときちんと位置づける必要があるのではないのでしょうか。ただし、いまや、睡眠科学の進歩は猛烈に速く、長年の常識だったことがひっくり返されることも多いので、これについていくのはなかなか大変です。そこでとりあえず睡眠の専門家による交流の場として日本最大の団体である日本睡眠学会が、会員の総力を結集し、編集時点(2023)でわかっている最先端の知識をわかりやすく整理する百科事典を作り上げました。わたしも微力ながら、在宅介護者の睡眠について分担執筆しました。

完成した百科事典は、学生が睡眠について勉強したいときにきつと役に立ちますし、研究のために睡眠についてレビューが必要なときは「この事典の内容で勉強し、それ以降の最新研究を検索する」ことで、とりあえず見通しが立つはずです。正直なところ個人で買うにはなかなかの価格なので、手に取った方は図書館のありがたさを痛感すると思います。ご活用ください。



ストレスの歴史
科学的研究の発展と社会・文化の影響
マーク・ジャクソン 著
丸山総一郎 監訳
創元社 2024年

ストレスという英語は、もうふつうの日本語として完全に定着していますが、その意味をきちんと説明するのはなかなか難しいでしょう。そもそもストレスという言葉は(考え方は)、いったいどのような意味でとらえられ使われてきたか、現代はいかにしてストレスの時代となったのか、という歴史に迫るのがこの本です。著者はイギリスの大学の医学史教授ですが、一年間の休暇の間におびたしい数の文献を調べ上げ、ラテン語や古い歴史の話から説き起こして、この分厚い本を独りで書き上げました。この博識と情熱には驚嘆するばかりです。研究でストレスについて考えようとする人には、チラ見でもいいからこの本を眺めていただきたい。

わたしがこのたび翻訳を分担することになったのは、30年来のつきあいがある監訳者から誘われたからで、他の訳者もみな古くから共に議論してきた旧知の研究者です。しかし実は、原文英語は格調高く難解で翻訳作業には難渋しました。訳の相談のため本学前教授のS先生に原文を見せたところ、「Oh …」と気の毒そうな顔をされ、ひと言「ガンバッテ！」と言われただけでした。いったいこの翻訳は出版できるのだろうかとも思いましたが、ようやく世に出ることになってほっとしています。翻訳は苦勞が多い割に報いの少ない仕事ですが、一人でも多くの方に読んでいただければ幸いです。

◆学生時代にお世話になった1冊

看護管理学的研究室 姫野 雄太 先生

りんごかもしれない
ヨシタケシンスケ【著】 ブロンズ新社

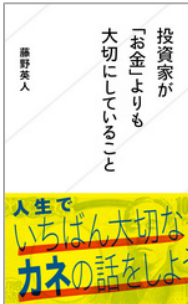


看護には正解はないと言われ、一人ひとり異なる状況にある患者さんへの最適解を探っていくことが求められます。そのためにはどれだけ患者さんの立場になって考えられるかという、想像力が大事になってきます。この絵本は想像することの面白さを教えてくれた一冊なので、皆さんもぜひ手に取ってクスっとしてください。

先生方が学生時代に読んだ本を紹介します。
新刊コーナーに展示しています。

生体科学研究室 坪内 優太 先生

投資家が「お金」よりも大切にしていること
藤野英人【著】 星海社



私が大学院修士課程1年(臨床3年目)の時に出会った1冊です。やはり「お金」は大切です。お金の「価値」が大切なのではなく、お金の「本質」を理解することが大切です。皆さんがレストランで支払う飲食代、看護師として貰う給料、それぞれのお金に意図があります。つまり「投資」です。「お金儲け＝汚い」となりがちな考えを一新させてくれる、そんな1冊です。

◆学生・職員からのメッセージ

◆看護学部3年 相垣実咲 さん◆

落ち着いた空間で友人と教え合いながら、効率良く学習をすることができるため試験前にはスタディールームを利用しています。実習期間中に困った時には、図書館に行けば疑問を解決できるほど多数の本があり、自分に合った本を見つけることができます。今後は卒業研究があるため、図書館を利用しながら学びを深めていきたいです。

◆事務局財務グループ 岸田美由紀 さん◆

2年前に1年間ほど図書館勤務になったことがきっかけで、色んなジャンルの本をたくさん読むようになりました。「教職員おすすめの一冊」が図書館に展示されていますが、何を借りようかと迷ったら、ここから選ぶ事をオススメします。自分ではなかなか選ばない本がたくさんあり、視野が広がります。そして、「おすすめの一冊」を紹介した先生と本の話題で盛り上がる事があります。本は学びを得るためだけでなく、コミュニケーションのきっかけを与えてくれる最高のツールだと思います。

◆「介護福祉支援センター富士見が丘」広報誌で図書館が紹介されました



介護福祉支援センター富士見が丘
「介護福祉支援センター富士見が丘」はトキハインダストリー横ふじみがおか健康プラザオレンジハート内にあります。

介護福祉支援センター富士見が丘が発行する広報誌「どうしてますか？」で本学図書館が紹介されました(令和6年11月№186号)。医療関係の図書以外にも小説など身近な本も置いているということから同施設の職員の方が興味を持って下さり、「地元のいやされる場所」として写真付きでご紹介下さいました。食堂のランチも好評のようで嬉しい限りです。学内の方はもちろん、地域の方にも開かれた図書館としてこれからも皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。



◆図書館カレンダー(2025年1月～3月)

図書館では土日・祝日に学部生・院生・卒業生を対象として休日開館を行っています。ぜひご利用ください。スケジュールは変更する場合がありますので最新情報はホームページでご確認ください。

□ 9時～20時 ■ 9時～17時 ■ 9時～15時 (入試準備のため) ■ 休館日
■ 10時～18時 (土日祝日の開館日は学内者・卒業生のみ利用可能です)

2025年1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図書館だより Vol.22 2025年1月発行 大分県立看護科学大学図書委員会

大分県立看護科学大学附属図書館 TEL 097-586-4330 FAX 097-586-4373
E-mail: library@oita-nhs.ac.jp URL: http://www.oita-nhs.ac.jp/library/